

## 黙示録 19 章 9 節-16 節スタディーガイド

神様のご計画は、ご再臨とメシア王国(千年王国)がなければ不完全に終わってしまいます。私たち主を信じる者はメシア王国、神の御国の到来を期待しているべきです。

また、ご再臨がイスラエルの民族的悔い改めにかかっているゆえ、私たちはイスラエルのために祈るべきです。

### ★ マタイの福音書 24 章 27 節-30 節

人の子の来るのは、いなづまが東から出て、西にひらめくように、ちょうどそのように来るのです。死体のある所には、はげたかが集まります。だが、これらの日の苦難に続いてすぐに、太陽は暗くなり、月は光を放たず、星は天から落ち、天の万象は揺り動かされます。そのとき、人の子のしるしが天に現れます。すると、地上のあらゆる種族は、悲しみながら、人の子が大能と輝かしい栄光を帯びて天の雲に乗って来るのを見るのです。

#### 27 節「いなづまが東から出て、西にひらめくように」

最初のご再臨の場所は、ボツラです。

#### 28 節「死体のある所には、はげたかが集まります。」

まだイエス様の救いを受けていない、霊的に死んでいるイスラエルの民がいるボツラに、はげたかが集まるように反キリストの軍隊が集まっています。

#### 29 節「太陽は暗くなり、月は光を放たず」

大患難時代最後の暗闇が襲っている時です。

イスラエルの民が泣きわめくような悔い改めをしている 2 日間、反キリストの軍隊は、暗闇の中でイスラエルの民を襲うことができません。その暗闇の中に、主が突然現れるのです。

#### 30 節「地上のあらゆる種族は、悲しみながら、人の子が大能と輝かしい栄光を帯びて天の雲に乗って来るのを見るのです。」

真の神様のお姿を見て、否定しようのない敗北に、地上のあらゆる種族は悲しみます。すべての聖徒たち、これは旧約の聖徒たち、教会の花嫁たち、死ぬ間に救われた人々、患難時代の殉教者たち、そして御使いたちが主と共に現れます。

### ★ 黙示録 19 章 9 節－10 節

御使いは私に「小羊の婚宴に招かれた者は幸いだ、と書きなさい」と言い、また、「これは神の真実のことばです」と言った。そこで、私は彼を拝もうとして、その足もとにひれ伏した。すると、彼は私に言った。「いけません。私は、あなたや、イエスのあかしを堅く保っているあなたの兄弟たちと同じしもべです。神を拝みなさい。イエスのあかしは預言の霊です。」

9 節「御使いは私に『小羊の婚宴に招かれた者は幸いだ、と書きなさい』と言い、また、『これは神の真実のことばです』と言った。」

小羊の婚宴について語っています。「婚姻」は天国であります、「婚宴」はメシア王国（千年王国）の始まりに、この地上で行われます。

マタイの福音書 9 章 15 節「イエスは彼らに言われた。『花婿につき添う友だちは、花婿がいっしょにいる間は、どうして悲しんだりできましょう。』」

ヨハネの福音書 3 章 29 節「花嫁を迎える者は花婿です。そこにいて、花婿のことばに耳を傾けているその友人は、花婿の声を聞いて大いに喜びます。それで、私もその喜びで満たされているのです。」

バプテスマのヨハネがこう語っています。

12 使徒やバプテスマのヨハネが花婿の友人で、婚宴に招かれる者たちです。イスラエルはホセア書に書かれているように、父なる神様であるヤハウエの奥様です。

10 節「イエスのあかしは預言の霊です。」

預言の基はイエス様であり、預言はイエス・キリストの栄光のために成就します。

### ★ 黙示録 19 章 11 節－16 節

また、私は開かれた天を見た。見よ。白い馬がいる。それに乗った方は、「忠実また真実」と呼ばれる方であり、義をもってさばきをし、戦いをされる。その目は燃える炎であり、その頭には多くの王冠があつて、ご自身のほかだれも知らない名が書かれていた。その方は血に染まった衣を着て、その名は「神のことば」と呼ばれた。天にある軍勢はまっ白な、きよい麻布を着て、白い馬に乗って彼につき従った。

この方の口からは諸国の民を打つために、鋭い剣が出ていた。この方は、鉄の杖をもって彼らを牧される。この方はまた、万物の支配者である神の激しい怒りの酒ぶねを踏まれる。その着物にも、ももにも、「王の王、主の主」という名が書かれていた。

11 節「私は開かれた天を見た。見よ。白い馬がいる。それに乗った方は、『忠実また真実』と呼ばれる方であって、義をもってさばきをし、戦いをされる。」

イスラエルの民族的悔い改めの叫びに答えて、天が開かれます。

12 節「その目は燃える炎であり、その頭には多くの王冠があって、ご自身のほかだれも知らない名が書かれていた。」

燃える炎の目は、すべてを見通し全焼させてしまう御力を表しています。

王の王であられるディアデマ（ギリシャ語で「かぶるべき者がかぶる冠」を表す語）の冠、十字架を通してすべての罪と悪から勝利を得た勝利の冠、それに復活によって死から勝利を得られるなどの、多くの王冠をお持ちです。

13 節「その方は血に染まった衣を着ていて、その名は『神のことば』と呼ばれた。」

この血は十字架の血ではなく、ボツラの戦いで反キリストの軍隊と戦われた時の、敵の返り血です。

15 節「この方の口からは諸国の民を打つために、鋭い剣が出ていた。」

主の口から出るみことばの剣は、機関銃のごとく激しく諸国の民を打たれます。

15 節「この方はまた、万物の支配者である神の激しい怒りの酒ぶねを踏まれる。」

裁きをなさる恐ろしさも、計り知れないことが、諸国の民に見せられる時です。

16 節「その着物にも、ももにも、『王の王、主の主』という名が書かれていた。」

宇宙の支配者である名が書かれています。

### ★ イザヤ書 34 章 6 節－8 節

主の剣は血で満ち、脂肪で肥えている。子羊ややぎの血と、雄羊の腎臓の脂肪で肥えている。主がボツラでいけにえをほふり、エドムの地で大虐殺をされるからだ。野牛は彼らとともに、雄牛は荒馬とともに倒れる。彼らの地には血がしみ込み、その土は脂肪で肥える。それは主の復讐の日であり、シオンの訴えのために仇を返す年である。

6節「主がボツラでいけにえをほふり、エドムの地で大虐殺をされるからだ。」

このボツラのある所は、ヤコブの兄エサウの子孫が住んでいた所で、エドムと呼ばれる所です。

8節「それは主の復讐の日であり、シオンの訴えのために仇を返す年である。」

イスラエルの訴えの復讐のためです。イスラエルの敵に対し忍耐強くあられた主が、ついにイスラエルの敵を容赦しない日が来たのです。

◆MEMO◆



OMEGA MINISTRIES  
OMEGA BIBLE STUDY